



発行 / 日本共産党
那珂市議会議員
木村 静枝
那珂市菅谷 4494-1
TEL/FAX 029-298-2064

国民の立場でわかりやすく
真実を報道し解決策を示す

しんぶん 赤旗

日刊 2900 円 / 日曜版 800 円
ぜひお読みください

議会報告 126 2007 年 10 月 25 日

平成 19 年度第 3 回那珂市議会定例会が 9 月 10 日から 26 日まで 17 日間開かれました。今回は平成 18 年度の決算や平成 20 年から 10 年間の「第一次那珂市総合計画基本構想(案)」などが示され審議をしました。木村静枝議員は決算特別委員会の委員となり、3 日間の審議の中で、一般会計と特別会計の国民健康保険、介護保険の決算認定に反対を討論をしました。一般質問者は 14 名でした。

市民税滞納額 5 億 6000 万円 高くて納められない人が増加

定率減税の廃止などで市民税が大幅に上がったために、税金を納められない人が増えていきます。その額は 5 億 6286 万円にもなります。税の徴収率は 92.9%と前年より 0.5%上がり、茨城県 44 自治体の中で 10 位と高位にあります。一方、滞納者に対しては厳しくなり、財産の差し押さえも 24 件あります。主に不動産ですが、預金 2 件、年金の差し押さえも 1 件あります。市民は相次ぐ増税で、税を納められなくなっています。木村議員は「市民が納められないほどの増税には反対」とただ一人反対しました。

「国民保護計画策定事業」は 420 万円の予算に対し、約 3 分の 1 の支出でしたが「戦争体制づくり」の計画は認められないと反対をしました。市長交際費は約 103 万円予算より減らし、286 万円になりこの点は評価しました。

保険証取り上げ 800 世帯に

平成 18 年度の国保税の滞納額は 6 億 5349

万円にもなります。1 年間保険税を滞納すると保険証を取り上げられ、そのかわりに資格証明書が発行されます。それを病院の窓口に出しても全額(10割)医療費を払わなければなりません。滞納額の一部を納めると短期(1か月から3か月)の保険証を発行してもらえます。その期間が過ぎるとまた市役所へ行かなければなりません。現在資格証明書の家庭は 193 世帯、短期保険証は 596 世帯です。病気になるっても病院へも行けない人が増え続けています。皆保険制度をこわすような保険証取り上げは認められません。

介護保険は負担が重くサービスは民間まかせ 予算がまっています

一号被保険者(年金が月 1 万 5000 円未満の人)が那珂市で 1470 人います。その内 331 名が保険料を納めていません。この人たちは介護を受けられません。その他に、介護認定を受けている人でも約 15%の人がサービスを受けていません。自己負担が多いからでしょうか。平成 18 年度の決算では 1151 万円も余っています。介護を受けたくても利用料の一割負担や、食事代、部屋代の全額自己負担が重く、サービスの利用を控える人もいるのではないのでしょうか。誰もがサービスを受けられるようにしていくことが求められています。

請願・陳情

「教育予算の拡充を求める請願」 一部採択
「地域の県立高校の存続と 30 人以下学級実現で行き届いた教育を求める意見書提出に関する陳情」 不採択

木村静枝議員は採択するようただ一人奮闘し

ましたが、賛成多数で不採択となりました。大平鉄筋工業所の増設工事の中止と周辺環境への改善を求める陳情 継続審査

木村静枝の 一般質問

全国はじめて住民主体の「地区まちづくり条例」にもとづく「下菅谷まちづくり」の進捗状況はどうなっているか

今年の 6 月 6 日の茨城新聞に「那珂市に続き県内 2 番目となる神栖市が『地区計画及びまちづくり推進に関する条例』を 6 月の定例議会に提出する」という内容の記事が載っていました。那珂市はこの点において先進地なのです。

木村議員は前回の質問の時「この事業を早く効率的に進めるには予算を主要 3 路線以外にも取って、下水道敷設工事と同時に街区道路、生活道路の暫定整備をするように」と要求しましたが、当時の建設部長は「住民の合意があれば別枠の予算でやる」と答弁していました。ところが、現在市が住民に説明していることは「主要 3 路線予算の枠内」ということだといつので、「答弁の内容と違うがどういことか」と説明を求めました。建設部長は「財政が非常に厳しい折、主要道路予算の枠内でやることに変更した」との説明でした。しかし、変更があった時は、速やかに住民に説明し、理解を求めるのが筋ではないでしょうか。建設部長は「道路の暫定整備はメートル 1 万 5000 円ぐらいでできるので、ある程度延長できるのではないか」とも述べているので住民の合意を進めることが肝心かと思っています。

オークリッジ市との交流会で 歴史的背景の学習交流を

今後事前学習を開催する

アメリカが「9・11同時多発テロ」に対する報復戦争を始めてから6年、アフガニスタンもイラクもテロが収まるどころかますます拡大の傾向にあります。「戦争でテロはなくせない」ということがはつきりしてきました。

同時多発テロで亡くなった人は3000人弱ですが、アフガニスタンでは米軍の誤爆などで毎年市民が1000人も亡くなり、イラクでは10万人以上の市民が戦争に巻き込まれ亡くなり、米兵の死者も4000人を超えているということです。何のための戦争なのか、誰のための戦争なのか、今ひとり一人が考え行動する時ではないでしょうか。

「戦争はなくならない」という人がいます。しかし、今度戦争になれば、核戦争になり、人類の滅亡へとつながります。今世界には2万7000発の核兵器があります。その過半数を持つているアメリカは新たな核爆弾の開発を進め、先制攻撃に核兵器を使うことを公言しています。

平和を守るには常日頃の取り組みが大切です。那珂市も2年前に戦争体験を語る催しがありましたが、今、全国各地で行われています。テレビでも戦争に関する番組が多く取り上げられるようになりました。終戦記念日の8月15日には防災無線で市民に「黙とう」を呼びかけている自治体もあります。木村議員は「那珂市としても5年の節目だけでなく、毎年行政として平和の取り組みをしてはどうか」と質問しました。市長公室長は「平和を願った灯籠流し、北朝鮮に拉致された日本人救出のところへの後援、原水禁世界大会や反核平和リレーへの賛助金支出、世界平和に寄与することを目的とした国際親善姉妹都市オークリッジ市との交流」などをあげました。

木村議員は「オークリッジ市との交流で、派遣中学生に、オークリッジ市はマンハッタン計画で原子爆弾を作ったところであり、日本はその被害を受けたところであるが、そのような歴史的背景を学習した上で、お互いに学習内容の交流などをしてはどうか」と質したのに対し、「今後、オークリッジ市の歴史的背景等も解説していきたい」とどまりました。

木村議員は「世界で初めて原子爆弾の被害を受けた広島や長崎で、毎年『原水爆禁止世界大会』が開かれているが、那珂市の中学生を派遣してはどうか」と要求。市長は「高校になれば修学旅行で行くと思うが、少数でいくよりも皆で一緒に体験することがよいと思っている」とその気がないことを表明しました。



今年も原水爆禁止世界大会が8月3日から9日まで広島、長崎で開催
核兵器廃絶への決意で一つになった閉会総会

ニュース問答 自衛隊が給油の米艦 やはりイラク戦争に

晴男 「イオウジマ」が話題になっているね。

陽子 ああ、「硫黄島からの手紙」とか、映画のことね。私も友達と見に行ったわ。

晴男 いや、戦争がらみは同じだけど、アメリカ海軍の強襲揚陸艦のイオウジマのことだよ。

陽子 「キョウシュウヨウリクカン」って、どんなものなの？

侵略の切っ先役

晴男 「揚陸艦」というからポトみたいなのを想像するけど、全然違う。全長260m、排水量4万トンの巨大艦船だよ。甲板が前から後ろまで広がっていて、空母揚げできる船だから、侵略戦争の切っ先の役目をもってるんだ。

陽子 で、その船がどうしたの。
晴男 自衛隊の船がインド洋でアメリカの軍艦などに給油していることが問題になっているよね。イオウジマが給油を受けた後にアフガニスタン空爆に参加していたことは、この前、明らかにしたんだ。その直後に、もう一度自衛隊から給油を受けて、その後でイラク戦争にも参加していたことが、新たにわかったんだよ。

全面的な米支援

陽子 国会中継を見てたら、政府は、「自衛隊の給油相手は、『会場阻止活動』、つまりテロリストとか武器とか麻薬とかを取り締まる警察活動をしているんだ。アメリカの戦争を支援しているんじゃない」って盛んにいってるでしょ。本当は全面的にアメリカの戦争への支援じゃない。

晴男 その通りだよ。このイオウジマは7隻の艦船で船団を組んで、海兵隊員とか、垂直離着陸ができる攻撃機を積んでいるんだ。もともと侵略戦争用の部隊であって、「海上阻止活動」に適した部隊じゃないと思うんだ。実際に、その行動を振り返れば、アフガンとイラクの戦争に全面的に参加している。イラク攻撃の準備にもかかわっていたとも言われているんだよ。

陽子 政府は、給油した後の相手の行動は「承知する立場になり」とか言ってるけど……

晴男 こんなことはみんな、公開された情報で誰でも知ることができるとだよ。アメリカの戦争への支援だと、百も承知の上で給油しているんじゃないのかい。

陽子 大問題ね。

2007年10月13日

「しんぶん赤旗」より